



議会だより

ハートがふれあう住民自治のまち



神河町
マスコット
キャラクター
「カーミン」

かみかわ がみがわ

第74号

令和4年10月25日



令和3年度決算	2～6
議案審議の様子	6～7
委員会の活動	8～10
いっぱん質問 4人が登壇	11～15

寺前幼稚園・小学校 合同運動会

令和3年度決算認定

88億5470万円(一般会計歳出)

(一人あたり82万円) 令和4年3月末人口10,767人

第109回定例会は、9月1日から9月28日までの28日間の会期で開催されました。各委員会報告、諸報告に続き、町からは報告2件、専決処分1件、条例改正4件、令和4年度補正予算12件、決算認定13件の計32件が提案され、慎重審議の結果いずれも原案のとおり承認、可決しました。

なお、決算認定では、監査委員より各会計とも適切に処理されていることや、数項目にわたる意見が付加された報告がありました。また、4人の議員による一般質問が行われました。

基金(貯金)残高(普通会計)42億4414万円 ※

(一人あたり39万円)

地方債(借金)残高(普通会計)132億5128万円

(一人あたり123万円)

令和3年度各会計決算認定は、議長・議会選出監査委員を除く9人の議員による決算特別委員会に付託され、9月12日と13日の2日間で審議を行いました。

令和4年度神河町一般会計補正予算(第5号)は、総務文教常任委員会に付

託され、2億976万円が追加されました。

主な内容は、インター

ネット回線の増速機器更新により変わる通信速度、新型コロナウイルスの接種時期の見込みと抗原定性検査の普及啓蒙活動、再生可能エネルギー導入戦略策定への取組姿勢、

宅地開発に係る関係区への報告の在り方等について審議しました。

また、追加提案されました令和4年度神河町一般会計補正予算(第6号)では、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金の交付内容について審議しました。

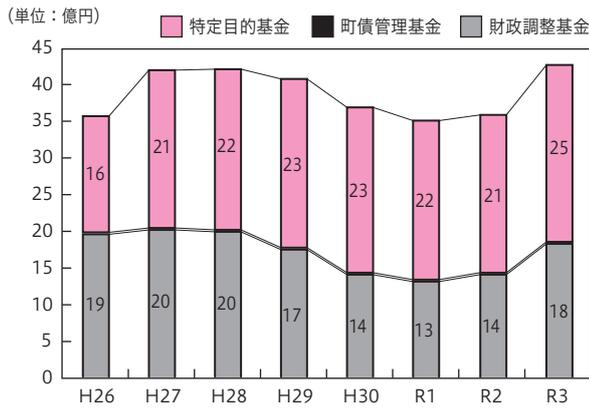
※普通会計とは…

一般会計、介護療育支援事業特別会計、産業廃棄物処理事業特別会計、寺前地区振興基金特別会計、長谷地区振興基金特別会計を合わせたものです。

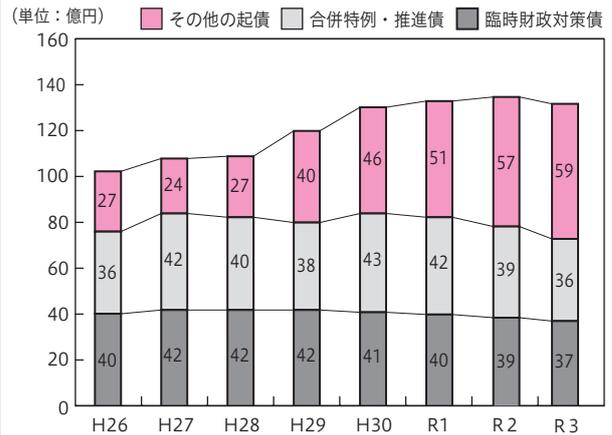
町の財政グラフ

貯金は増加、借金は高止まり傾向

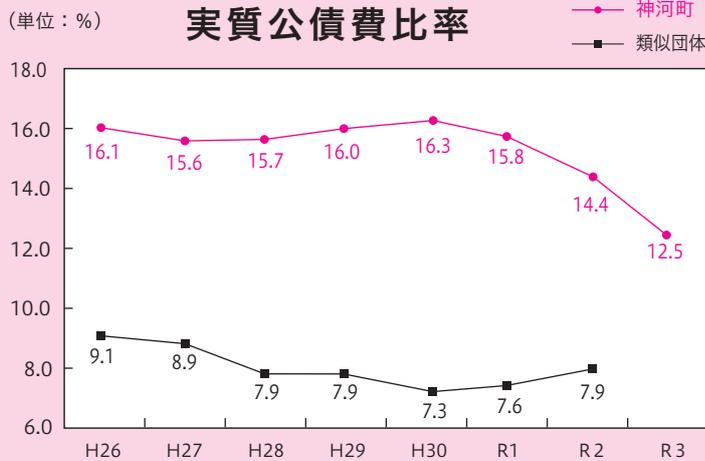
基金(貯金)残高の推移



地方債(借金)残高の推移



実質公債費比率



◆実質公債費比率とは◆

税などの収入に対して借金の返済に使ったお金の割合。

◆神河町の実質公債費比率の特徴◆

合併による旧両町の起債残高の元金償還が多額なため、類似団体より高い水準となっている。この比率を下げるために「公債費負担適正化計画」の着実な実施により徐々に改善している。令和3年度も3年連続で減少しているが、まだ類似団体よりも高い水準のため、今後もしっかりと適正管理していく必要がある。

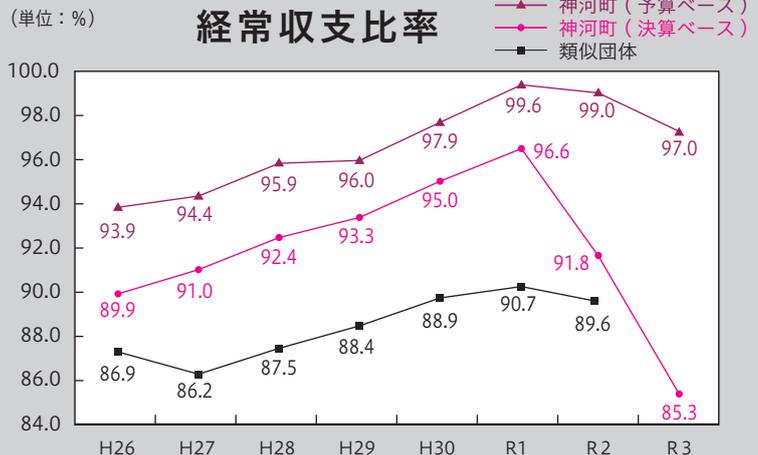
◆経常収支比率とは◆

人件費などの経常的な経費に、税金などの経常的な収入を充当している割合。比率が高いほど、自由に使えるお金が少なくなる。

◆神河町の実質公債費比率の特徴◆

歳入は、普通交付税が増加。歳出は、義務的経費のうち人件費が減少。また、病院、下水道事業への補助金も減少した。それにより、歳入は増加、歳出は減少となり、経常収支比率が下がり、類似団体に近づいた。今後も、健全な財政運営に努めていく必要がある。

経常収支比率



決算特別委員会

9月12・13日開催

主なQ&A

一般会計

歳入

Q スキー場使用料が4000万円になっているがなぜか。

A (株)MERIゾート播磨から令和3年度分の使用料3000万円と、使用料の分納分(令和2、3年度分)1000万円を納付してもらったためである。

歳出

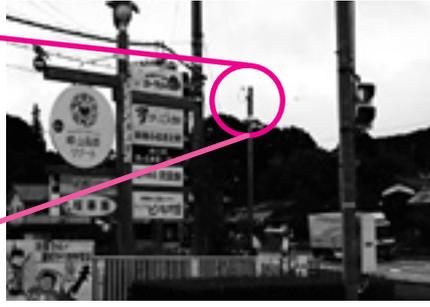
Q ふるさと納税寄附額が約5176万円入ってきているが、返礼品代や経費等を引くと実益はいくらになるか。

A 返礼品代や送料、委託等に係る経費、町民が別の市町村へふるさと納税をしている税控除額を引くと、寄附額の約

4割が実益となる。

Q 町内に設置の防犯カメラで、事故等記録データを警察へ提供した実績は。

A 不法投棄、交通事故でそれぞれ1件ずつデータを提供した。



貝野橋東交差点設置の防犯カメラ



Q 峰山高原スキー場整備初期投資後の追加工事総額は、令和3年度末時点でいくらか。

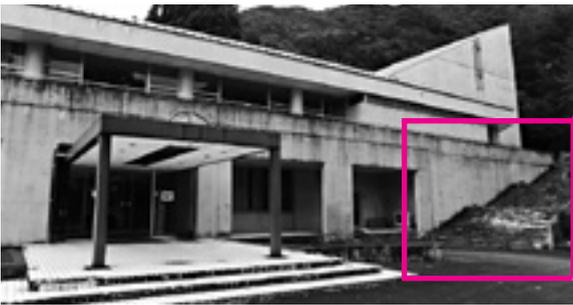
A グレンドエ緑化工事や駐車場整備、道路改良事業等で7741万7680円となっている。



峰山高原スキー場グレンドエ緑化工事

Q 農村環境改善センターは、将来的にどうなるのか。

A 今の状態で運営してもらえらる事業者があれば検討する。事業者がいなければ、取り壊しを検討する。



農村環境改善センター



タイルが剥がれ落ちた階段

Q 除雪作業の確認と苦情対応はどのようにしているのか。

A 業者の除雪が完了すれば、日報の提出を受け確認する。苦情は、現地に行き、業者に指示をしている。

Q 運用当初から不具合のあった防災行政無線を改善するためにコロナ対策臨時交付金を充當したのはなぜか。

A コロナ禍で住民に情報を伝える要になる防災行政無線に不具合があつてはならないため、臨時交付金を充當した。

【総括質疑】

Q 創業支援事業で、起業、整体、建設業、飲食店の4事業者が創業されているが、全て一律の補助金額か。

A 補助額は、事業費の3分の2で、最大200万円となっている。

Q 災害に対する実践訓練の必要性と計画は、どのようにしているのか。

A 災害に備えての避難訓練は必要である。令和4年11月6日に旧栗賀小学校区を対象に防災訓練を実施する。その際、障がいのある方や高齢で一人での避難が困難な方(避難行動要支援者)を福祉避難所へ誘導する訓練も実施する予定である。

Q ひょうごで働こう移住支援事業で、令和3年度の実績がないのはなぜか。

A 兵庫県が主催の事業で、町内で登録要件に該当する事業所がないためである。

Q 歳出で委託料の占める割合が多いが、委託業務ごとに毎年入札をしているのか。

A 工事と同様に委託業務についても、入札を行うことを基本としている。

国民健康保険事業特別会計
Q 国民健康保険税の年金からの特別徴収と普通徴収の割合は。

A 令和3年度末の国民健康保険加入世帯は、1484世帯で、その内、特別徴収が341世帯、普通徴収が1143世帯で、特別徴収の割合が約23%となっている。

土地開発事業特別会計

Q 住宅の分譲候補地を1か所に絞っているが、面積が広すぎてなかなか誘致できないと説明があった。以前、4集落から申し出のあった用地も1つの候補地として紹介してはどうか。

A 4集落から申し出のあった場所は、ほとんどが用地へたどり着くための道路整備が必要であるため、断念した。しかし、分譲地の可能性がゼロということではないので紹介していきたい。

公立神崎総合病院事業会計
Q 公立神崎総合病院への普通交付税と特別交付税の額はいくらか。

A 普通交付税が約2億3300万円、特別交付税が約5600万円で、合わせて約2億8900万円である。

Q コロナ関係の特別財源がなかった場合、どのような経営状況になっていたのか。

A 令和2年度並みの入院及び外来収益であれば1700万円の資金不足になっていた。

Q 公立神崎総合病院で新型コロナウイルス感染症の受け入れ状況は。

A 令和2年度26名、令和3年度50名である。令和4年度は9月9日時点で29名である。

申し入れたこと
決算特別委員会では、今年度も質疑ではつきりと答弁ができない場面、また、答弁を訂正する場面がありました。
決算特別委員会に説明員として出席するに当たり、準備不足、勉強不足と言わざるを得ない旨を強く申し入れました。

決算に対する監査委員の主な意見

監査委員 藤後 秀喜 吉岡 嘉宏

令和3年度全会計について、7月12日から21日の間の6日間で各会計に対する決算審査を行い、決算計数等、いずれも法令に準拠して適切に処理されていることを認めました。

なお、下記の点について令和2年度決算時から一定の改善はされていますが、今後も常に留意して取り組むべき事項であるため、特に意見しました。

- ①契約事務を行うに当たっては、競争性、経済性、公平性及び透明性の確保に努められたい。
- ②補助金交付団体の会計処理は、要綱に基づいて適正に行うこと。また、決算報告は、補助金の成果を検証できる統一の報告様式を作成し、その報告様式に基づき各補助金交付団体から報告を受けるよう検討されたい。合わせて、各種補助金の成果を常に検証し、内容によっては補助金額の見直しも検討されたい。
- ③各課提出の収支見込調書の精度を高め、適正な資金運用に努められたい。
- ④内部統制システムの再構築と運用の徹底を図られたい。
- ⑤職員の健康管理面から、超過勤務が常態化しないよう適正配置や事務分掌に十分な留意を払われたい。
- ⑥備品管理台帳の精度を高め、適正な財産管理に努められたい。
- ⑦各課における窓口での現金の取扱いについては、公金取扱マニュアルに基づき、事故を防止されたい。

議案等の審議結果

◆全員賛成で可決・認定した議案等◆

報告番号	件名
第4号	令和3年度(第24期)株式会社神崎フード経営状況報告の件
第2号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告の件

議案番号	件名
第66号	専決処分をしたものにつき承認を求める件(令和4年度神河町一般会計補正予算(第4号))
第67号	神河町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第68号	神河町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第69号	神河町新田ふるさと村条例の一部を改正する条例制定の件
第70号	神河町峰山高原スキー場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第71号	令和4年度神河町一般会計補正予算(第5号)
第72号	令和4年度神河町介護療育支援事業特別会計補正予算(第1号)
第73号	令和4年度神河町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
第74号	令和4年度神河町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
第75号	令和4年度神河町土地開発事業特別会計補正予算(第1号)
第76号	令和4年度神河町訪問看護事業特別会計補正予算(第2号)
第77号	令和4年度神河町産業廃棄物処理事業特別会計補正予算(第1号)
第78号	令和4年度神河町寺前地区振興基金特別会計補正予算(第1号)
第79号	令和4年度神河町浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)
第80号	令和4年度神河町水道事業会計補正予算(第2号)
第81号	令和4年度公立神崎総合病院事業会計補正予算(第2号)
第83号	令和3年度神河町介護療育支援事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第84号	令和3年度神河町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第85号	令和3年度神河町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第86号	令和3年度神河町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第87号	令和3年度神河町土地開発事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第88号	令和3年度神河町訪問看護事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第89号	令和3年度神河町産業廃棄物処理事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第90号	令和3年度神河町寺前地区振興基金特別会計歳入歳出決算認定の件
第91号	令和3年度神河町長谷地区振興基金特別会計歳入歳出決算認定の件
第92号	令和3年度神河町下水道事業会計決算認定の件
第93号	令和3年度神河町水道事業会計決算認定の件
第94号	令和3年度公立神崎総合病院事業会計決算認定の件
第95号	令和4年度神河町一般会計補正予算(第6号)

◆賛否の分かれた議案◆

議案番号	件名	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
					小島	木村	澤田	廣納	安部	吉岡	松岡	藤森	藤原	欠番	栗原	小寺
第82号	令和3年度神河町一般会計歳入歳出決算認定の件	9	1	認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	○	-

・○は賛成、×は反対です。12番の小寺議長は賛否同数の採決以外は採決に加わりません。

・10番は欠番となっています。

議案審議

報告

〔第24期(株)神崎フード経営状況〕

総売上は、13億4226万円で、前期より1095万円の減(8.1ポイント)、最終利益は1844万円で、9年連続の黒字となりました。

今年度も、コロナ禍で自己消費の完結型が増え、小売りへの販売は大きく変化することなく推移したことから、昨年度と比べ減少幅は小さくなりました。

道の駅「銀の馬車道・神河」は、行動制限による増減はあったものの、前期に比べ売上は上回りました。

利益の配当は一株500円で、町の持株830株に対し41万5000円の配当がありました。

条例の一部改正

〔育児休業等に関する条例〕

非常勤職員の育児休業・育児参加のための休暇をより柔軟に取得できるように改正するものです。令和4年10月1日から適用になります。

〔新田ふるさと村条例〕

近年の燃料高騰やそれに伴う物価上昇による経費増大など、当初の計画から環境が大きく変化したこと等により、利用料金を改正するものです。令和5年4月1日から適用になります。

〔峰山高原スキー場の設置及び管理に関する条例〕

近年の燃料高騰やそれに伴う物価上昇、最低賃金の改正など環境が大きく変化したこと。また、電気料金の法人特約の解消等により、施設の利用料金を改正するものです。令和4年9月1日から適用になります。

補正予算

〔令和4年度一般会計(第5号)〕

歳入歳出それぞれ2億976万円を追加し、歳入歳出予算の総額を87億6640万3000円とするものです。

主な内容は、インターネット回線を1ギガから2ギガに増速するために必要な機器更新経費、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金(町単独分)の支給、オミクロン株対応のワクチン接種に係る経費、スマート化促進機械整備事業補助金(汎用コンバインの導入経費)、財政調整基金積立金等です。

〔令和4年度一般会計(第6号)〕

歳入歳出それぞれ1億267万4000円を追加し、歳入歳出予算の総額を88億6907万7000円とするものです。

内容は、新型コロナウイルス感染症追加支援で、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金の交付が、住民税非課税世帯には一世帯当たり5万円を、また、高齢者向けの14施設と障害者向けの5施設及び2つの町内保育施設には施設規模に応じて交付されるものです。さらに、全世帯に一世帯当たり5000円の地域商品券が交付されるものです。

〔令和3年度一般会計歳入歳出決算認定の件〕

反対討論 藤森正晴

「大好き！私たちの町かみかわ」に近づいたのか

1億6000万円ほどの黒字であるが、いくらか使った、節約したでなく、いかに住民福祉の事業ができたかであり、目標に近づいたかである。

新型コロナウイルス対策事業は他市町の状況を見ながらであり、支援を受けられない人たちの対策は無く、町独自の魅力発信ができなかった。予算がないが先走ったのか、考えものである。

人口減少対策の企業誘致も前に進まなかった。ひょうごで働こう移住支援事業においても適用企業がないでは問題を残す。

監査委員からの意見書7項目も改善がない。同じ項目がいつまで続くのか。職員の能力、若い力を十分活かした、新たな視線に立った行政の転換を求める。

常任委員会は、3か月ごとに各課事業の進捗状況と重要事業の調査をしています。

総務文教常任委員会

8月19日開催

教育課

◎長谷小学校PTA役員会を受けて、教育委員会が7月から8月の間に、小学5年生以下の保護者12名と未就学児の保護者9名を対象に個人面談を行いました。その意見を集約し、早々にPTA役員と協議を行います。

◎令和5年4月から幼稚園での未就労家庭の3歳児受入に向けて、募集チラシを作成しました。該当者に個別郵送するとともに10月町広報と町ホームページで周知し、10月17日から11月18日まで募集します。

◎町民温水プールで、シャワー室の天井や貯水槽

の水位調整機器など多くの修繕箇所が新たに判明しました。安全に利用できるように、緊急度が高いところから修繕を実施していきます。

◎神崎公民館大ホールの空調機器が6月末から故障し、修理部品がなく修理が不可能となつています。施設予約者には部屋を変更していただいています。

更新費用は約3000万円、耐震に問題がある施設に大きな投資を行うことは困難なため、対処方法を検討中です。

◎学校給食への異物混入は1学期0件でした。衛生管理マニュアルを細部にわたり見直し、衛生管理に努めたことも要因の一つと思われれます。

税務課

◎町税等の納税者の利便性向上の取組として、今年4月からスマートフォン

決済サービスによる納付を開始しました。7月末時点の同サービスとコンビニ納付を合わせた納付額は約5300万円で、昨年同期と比較して約850万円の増額となっております。一定の効果が出ています。

◎7月25日に今年度2回目の滞納整理対策委員会を開催しました。各担当課の滞納繰越状況の確認を行い、徴収強化に向けて協議しました。

◎令和4年7月末時点で、現金等保管総額は、62億3482万1487円です。一時借入金は4月以降ありません。一時預貯金は9億円です。

◎支払い時に、誤送金等の事故が発生した場合に備え、「会計課誤送金対応マニュアル」を作成しました。

会計課

◎行財政改革推進委員会で、「地方創生の流れに乗った一歩踏み込んだ改革」をテーマとして意見をいただき、11月には基本方針と重点項目(案)の骨子の確認を行います。

◎公共施設等総合管理計画の各施設個別計画策定に向けて、7月に現地立入検査を実施しました。調査結果を基に、各施設を管理する担当課の意見聴取を行い、11月には個別計画を取りまとめます。

◎地域自治協議会は、町内7ブロックで令和6年4月の設立に向けて協議が進められています。先行して令和5年度に設置する越知谷ブロックは集落支援員(事務局)が決まり、9月町広報とともに越知谷地域の全世帯に事業計画書等が配付されます。

総務課

7月27日 現地調査

総務課が担当する廃校跡地整備活用事業の現地調査を行いました。

・ゲートウェイアジア合同会社「神戸国際アカデミー」

（旧地域交流センター）
株式会社 Bugno（バグモ）「神河ファーム」
（旧川上小学校）

・但馬米穀株式会社「みどりのパーク」
（旧越知谷小学校）



旧越知谷小 循環型無農薬栽培

コロナ禍で当初計画どおりの事業推進に影響がある事業所もありますが、事業の更なる発展と雇用も含めた地元地域との連携をお願いしました。

民生福祉常任委員会

8月17日開催

公立神崎総合病院

重要事項の健全経営に向けた病院経営改善対策本部会議で、住民アンケート調査結果への対応について課題整理や意見交換を行っています。

また、公立神崎総合病院経営改善計画は、令和5年度中の策定を目指し進めています。

Q 入院患者で十数名の新型コロナウイルス感染症陽性者が確認されているが、重症化等に至っていないか。

A 当該病棟で8月10日までに入院患者44名中16名の陽性者が確認された。8月17日時点で退院が1名、コロナが直接の原因ではないが、亡くなった方が1名、感染後10日経過者が4名、8月18日以降、感染後10日経過者が10名の状況である。



障がい者支援事業所「のどか」

健康福祉課

◎神崎総合病院北館イベントホールの活用について、集いの場開催に向けて各種ボランティア団体への説明会を開催しました。

また、障がい者支援事業所として、上石区に「のどか」が新設され、5月1日から利用を開始されています。

住民生活課

◎8月9日から抗原検査キットの配布を行っています。医療機関のひっ迫回避のため、2〜59歳で基礎疾患がなく、軽症の方に対し自ら検査を行い、自主療養するためのものです。神河町には950セットの割当があり、8月16日時点で34セット配布しています。

Q 濃厚接触者の抗原検査やPCR検査はしてもらえないのか。検査キットを確保しておき、濃厚接触者に配布できないか。

A 濃厚接触者には症状がある場合に限り配布する。濃厚接触者は感染者と接触した日から5日間の自宅待機になり、検査で陽性が出れば10日間の自宅待機になる。抗原検査キットの無償化事業は病院での感染リスクを避けるためのものではない。 ※8月17日時点の対応になります。

Q 中播消防署建て替えの今後のスケジュールは。

A 建設される周囲の住民のことも考慮し、慎重に進め、9月には方向性を出していきたい。

上下水道課

水道基本計画に基づく水道施設の整備事業について、山田浄水場、山田第1配水池更新工事は10月予定です。5管路工事（長谷、中村、寺前、福本）は入札執行しました。

Q 料金事務及び滞納整理事務の委託検討について、委託すると経営コストが確実に下がるのか。

A 広域での委託はメリットがあると考えている。朝来市から広域での委託の誘いを受け、検討している。今後は、神崎郡3町での広域化を検討していきたい。

Q カーボンニュートラルな町を目指している中で、脱炭素区域設定のためのゾーニング調査事業が不採択になっても、町単独で推進してはどうか。

A 現時点では環境省事業を活用して進めていきたい。国の動向、状況を見ながら同様の補助事業を活用したい。他の市町の状況も確認しながら採択されるよう努めたい。

産業建設常任委員会

8月22日開催

建設課

橋梁長寿命化修繕事業、石枕橋（根宇野区）、寺ノ元橋（川上区）、祇園南橋（上小田区）の工事は、完了しました。

Q 町道でセンターラインや外側線が消えているところがある。安全対策として対応が必要では。

A 舗装状況と白線の消え具合を見ながら対応していきたい。外側線については、通学路の安全対策を考え、グリーンベルトの方向で進めている。

Q 県道加美穴粟線改良促進議会連絡協議会で取り組んでいる穴粟市一宮本谷から上小田間のトンネル計画の両市町の起点はどうなったのか。

A 穴粟市では、現在進められている能倉バ

イバス工事が令和5年度完成予定であり、その後坂ノ辻峠間を部分改良し、その後にトンネルの要望をしていく予定である。当町も上小田区と協議を進めていきたい。

8月2日に県道長谷市川線改良促進議会連絡協議会の総会が開催されました。

比延地内の道路改良工事は、8月末に完了しました。新たに寺前区から大河区の歩道マウンドアップの改良要望を提出しました。

地籍課

Q 現地調査において、事故等はなかったのか。

A 熱中症1件、ダニ刺され1件の合計2件であった。

農林政策課

かんざき大黒茶屋の入込み客数の状況は、ほぼコロナ前の水準に戻り、7月は過去最高となりました。7月から道の駅「銀の馬車道・神河」設置の自動販売機で「ゆず香ちゃん」を販売していきます。



自動販売機で販売中の「ゆず香ちゃん」

Q 住民から有害駆除活動の鉄砲音の苦情を聞くが、定期的な周知ではなく、告知放送等周知を多くすべきではないか。

A 駆除期間中は、定期的に告知放送等で周知している。急遽駆除を行う場合は、猟友会と相談し対応したい。

ひと・まち・みらい課

旧栗賀小学校跡地の公園・図書コミュニケーション施設整備事業は、プロポーザル方式で設計業者を公募し、16社の応募がありました。書類審査等で3社に絞り、地元検討委員会と協議し、東畑建築事務所に決定しました。

Q グランドゴルフ場設置の要望書が提出されているが、どう対応するのか。

A 署名と一緒に要望書をいただいている。各区やグリーンエコー笠形にもコートがあり、重複となるので難しい状況である。

Q 今回の意見募集で提案された方への回答はどうするのか。

A 提出された方への個別での回答は難しい。何らかの方法により公表することで回答としたい。

デマンド型交通導入に向け、プロポーザル方式で交通運行システム導入業者を決定し、オペレーター業務は（公社）中播広域シルバー人材センターに契約することが決まりました。受付場所は大河内保健福祉センターの一室を利用することを検討しています。

Q 全路線での試験運行を提案していたが、検討されたのか。

A コミュニティバスの乗車人数が少なくなる時間帯に限り運行するので、まず、川上方面で試験運行し、早期に全路線に広げていくことを考えている。



デマンドバス用に改装中

みなさんの **声** を **町政** に

一般質問 は、住民から重大な関心と期待を持たれるもので、議員が執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求め、議員自らも政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。質問する議員は、町長に事前に質問内容を通告します。時間は質問、答弁合わせ1人1時間以内となっています。質問した議員それぞれが原稿を起こし、「議会だより」に掲載しています。(1人1ページ)

今回の登壇者は4人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項	ケーブルテレビ再放送日
12	藤原 資広 議員	①最重点施策に、農林業の再生に向け 2050 年の神河町の青写真づくり(神河将来ビジョン)の策定を掲げられていますが、現状をどう分析され、どう再生していこうとされておられるのか、町長の発想の原点と方向性についてお尋ねする	11月8日(火) 午後7:00~
13	吉岡 嘉宏 議員	①神河中学校自転車通学生徒の自転車購入費補助はできないか ②神河町民 40 歳までの遠方通勤者(30Km)の通勤費補助を再考できないか	11月8日(火) 午後8:00~
14	小島 義次 議員	①学童保育実施における課題はないか ②小学校バス通学は必要ではないか ③「長期総合計画」と「2050 神河将来ビジョン」との関連は	11月9日(水) 午後7:00~
15	松岡 宣彦 議員	①当町における自治体DXへの取り組み、システムの構築計画はいかに ②ふるさと納税の倍増計画を考えているか	11月9日(水) 午後8:00~

※この日程は変更となる場合があります

- 11 月**
- 11日(金) 産業建設常任委員会
 - 16日(水) 民生福祉常任委員会
 - 22日(火) 総務文教常任委員会
- 12 月**
- 1日(木) 議会運営委員会
 - 7日(水) 第110回定例会
(提案・質疑等)
 - 9日(金) 総務文教常任委員会
(付託議案)
 - 14日(水)・15日(木) 定例会(一般質問)
 - 21日(水) 定例会最終日(採決)

主な議会日程

本会議等の傍聴について

希望される方は、本会議当日に議場入り口の傍聴人受付票に住所、氏名等を記入し、受付箱に投函してください。なお、団体での傍聴を希望される場合は事前に事務局までご連絡をください。

議会だよりかみかわ
第73号の一般質問記
事の内容訂正

栗原廣哉議員の一般質問で、記事の訂正があります。お詫びして訂正します。

正 Q 経費削減項目は、削減前はいつ頃からそのような状況であったのか。

A 詳細については、いつからかは把握していないが、職員に聞くとかなり前からであると聞いている。

誤 Q 3つの経費削減項目はいつ頃から行われていたのか。

A 当然私が着任する前からであるが、はっきりとしたことは分からない。かなり前から行われていたと聞いている。

最重点施策に、農林業の再生に向け2050年の神河町の青写真づくり(神河将来ビジョン)の策定を掲げられています。現状をどう分析され、どう再生していくのか



藤原 資広 議員

町長 グランドデザインの策定を先に進める

A

Q

ビジョン策定は真似るのではなく、真に

30年とした。ビジョン年次と合わせて

A

町長 国や県が策定予定の

「50年後の青写真づくり」との記載があるが、あえて50年と書かれた想いは。

Q

予算概要説明書では、

「50年後の青写真づくり」との記載があるが、あえて50年と書かれた想いは。

A

町長

将来の神河町のあるべき姿、ありたい姿を明確にし、それを実現するために、今後、行政と住民が何をすべきかを考え、実行していくためのグラウンドデザインを創るものである。

Q

ビジョン策定は真似るのではなく、真に

30年とした。ビジョン年次と合わせて

A

町長 国や県が策定予定の

「50年後の青写真づくり」との記載があるが、あえて50年と書かれた想いは。

Q

予算概要説明書では、

「50年後の青写真づくり」との記載があるが、あえて50年と書かれた想いは。

A

町長

将来の神河町のあるべき姿、ありたい姿を明確にし、それを実現するために、今後、行政と住民が何をすべきかを考え、実行していくためのグラウンドデザインを創るものである。

Q

ビジョン策定は真似るのではなく、真に

30年とした。ビジョン年次と合わせて

A

町長 国や県が策定予定の

「50年後の青写真づくり」との記載があるが、あえて50年と書かれた想いは。

Q

予算概要説明書では、

「50年後の青写真づくり」との記載があるが、あえて50年と書かれた想いは。

A

町長

将来の神河町のあるべき姿、ありたい姿を明確にし、それを実現するために、今後、行政と住民が何をすべきかを考え、実行していくためのグラウンドデザインを創るものである。

Q

ビジョン策定は真似るのではなく、真に

30年とした。ビジョン年次と合わせて

A

町長 国や県が策定予定の

「50年後の青写真づくり」との記載があるが、あえて50年と書かれた想いは。

Q

予算概要説明書では、

「50年後の青写真づくり」との記載があるが、あえて50年と書かれた想いは。

A

町長

将来の神河町のあるべき姿、ありたい姿を明確にし、それを実現するために、今後、行政と住民が何をすべきかを考え、実行していくためのグラウンドデザインを創るものである。

ひとこと

パフォーマンスより中身が大事！
今、できることから始めよう！



吉岡 嘉宏 議員

- ・神河中学校自転車通学生徒の自転車購入費補助はできないか
- ・神河町民 40 歳までの遠方通勤者 (30km) の通勤費補助を再考できないか

神河中学校自転車通学生徒の自転車購入費補助はできないか

Q 神河中学の自転車通勤の現在の生徒数は。

A 122名である。

Q 通学用自転車の規格の制限は。スピードの出るロードバイクやドロップハンドル等の制限はされているのか。

A スポーツタイプや、ドロップハンドル、カラーポークも禁止している。

Q 現在、バス通学生徒のバス代は全額補助だが、自転車通学生徒の自転車購入費は全額個人負担である。公平な取り扱いとするため、自転車購入費補助が必要と思う。自転車購入価格は平均7万円ぐらいなので、額補助をし、上限3万5000円とすればどうか。

A 合併協議の際に自転車の購入費補助の件

も議論したが、中学卒業後も個人財産になるという考えで全額個人負担とした。しかし、その後少子化は一段と進み、神河町の宝である子どもたちの子育て支援の観点から前向きに検討する。

神河町民40歳までの遠方通勤者(30km)の通勤費補助を再考できないか

Q この提案はこれで3回目である。8月21日開催の「かみかわ未来創造ワークショップ」に参加したが、ある中学生から仕事先、学校が町外になるのは仕方ないことだが、神河町にはJR、播但連絡道が通り、交通の便に恵まれている。ここに力を入れてほしいという声があった。同感であり、町に必要な制度であると改めて感じた。

前回までは一月一律5000円の補助としていたが、町財政に配慮し、①勤め先からの通勤手当で賄えない分と町内の駅

周辺に駐車場を借りている場合の駐車料金。
②ひと月一律3000円の補助金。対象者約500人×3000円×12月=1800万円。
どちらか出来ないか。たたき台として提示する。4月にJR西日本が1日あたり乗車人員2000人未満の路線の見直し方針が示された。播但線の寺前から和田山間も対象であった。県内関係自治体でローカル線ごとにワーキングチームを作り、路線維持に向けた対策を検討しようとしている。通勤費補助も利用促進の1つであるので、今後検討していく。

また、JRの利用促進は必要な施策だと思う。JR播但線の存続は必要不可欠であるため、様々な手立てを講じてほしい。そこで提案だが、JR通勤者だけでなく、高校生以上のJR通学者の定

期代の補助を考えてほしい。自治体ワーキングチームで神河町の独自策として発表されてはどうか。参考にし、十分な検討を重ねたい。

Q ①、②プランの検討をしていただきたい。また、JRの利用促進は必要な施策だと思う。JR播但線の存続は必要不可欠であるため、様々な手立てを講じてほしい。そこで提案だが、JR通勤者だけでなく、高校生以上のJR通学者の定



小学校児童のバス通学は必要ではないか



小島 義次 議員

教育長

4 Km以上はバス通学ができる。特別な事情がある場合は4 Km以内でもバス通学が可能

Q 低学年の児童が夏の暑い中、長距離を歩いて帰るのは、熱中症・交通事故・不審者・獣被害の心配など環境が変化しており、安全面で課題がある。バス通学の必要性についてどう考えるか。

A 教育長

3月議会でも、おおむね4 kmを基準としてバス通学を選択でき、通学費等の支給条例も一部改正した。低学年で、身体的な理由等で特別な事情がある場合は自費でのバス通学を認めている。安全面では、高学年と一緒に帰ったり、地域の方の見守り協力を依頼したりするなどの取組を進めている。

Q 健康面・安全面を考慮し、将来的にバス通学のできる距離制限をなくしてはどうか。

また、数年かけて条件整備をし、スクールバスの全面導入も必要ではないか。

A 教育長

現時点では距離制限

について検討することは考えていない。

スクールバス導入については公共交通の見直しが必要であり、大変難しい問題であるが、将来的には検討を進めていくことになるかと考える。

Q 学童保育実施における課題は無いか

Q 夏休み中の指導補助員の募集の結果は。

A 社会教育特命参事

6月募集では応募がなかった。各小学校の学習指導員と生活支援員に呼びかけ、8名の協力を得た。8月に学生等6名の応募があり、夏休み期間のみの指導補助員は14名であった。

Q 夏休み中の補助員確保の課題をどう乗り越えたか。

A 社会教育特命参事

広報やケーブルテレビ、防災無線の定時放送、近隣の大学等への依頼文書の発送など情報発信を

行ったが、募集人数12名に達しなかったため、過年度採用者への交渉等も行った。人数確保までは教育課職員と教育指導員が応援に行った。

Q 安心して利用できる学童保育の人的環境を確保するため、夏期休業中のみ待遇アップなどの工夫はできないか。

A 社会教育特命参事

待遇改善は、会計年度任用職員全体に関わるため、一時的な待遇改善はできない。

Q 「長期総合計画」と「2050神河将来ビジョン」との関連は

A 「2050神河将来ビジョン」は「長期総合計画」の後を引き継ぐ性格のものなのか。

A 総務課長

引き継ぐものではない。「2050神河将来ビジョン」は神河町の青写真、姿を表現する指針になるものである。

Q 「第2次長期総合計画」で5年間の目標設定が2023年度になっている。その目標値の確認方法は。

A 総務課長

令和5年度において各部署の進捗状況の把握と住民アンケートにより、満足度・重要度を把握していきたい。

Q 達成が難しかった目標については後期基本計画に引き継がれるのか。

A 総務課長

目標値を達成できなかった施策については担当部署で原因等を分析・検討し、行動計画として後期基本計画に引き継いでいく。

ひとこと

実態に即した緻密な計画と実効性を求めます



松岡 宣彦 議員

Q 当町における自治体DXへの取組とシステム構築の計画案はいかに

町長

自治体DX推進計画を策定し、デジタル社会の構築に向けた取組を進めていく

Q 当町が推進するSDGsの一環としてタブレットの活用でペーパーレスを目指しているが、

まだまだ資料など紙を多く使用している状況である。都会と中山間地域の生活格差を無くすための自治体DXを今後どのように推進していくのか。

他の自治体の実施例や構想も参考に新しいシステムを構築していかなければならないため、非常に難しく煩雑な作業になる。特に「デジタル推進課」を新設してはどうか。

A 総務課長

近い将来、人口減少による職員数の減少、少子高齢化による税収の減収は確実で、自治体財政の逼迫も予想される。そのような状況の中、自治体のデジタル化は必要不可欠で、アナログからの脱却が求められる。

アナログ業務は様々な側面で効率が悪く、職員への負担も大きい。それがデジタル化されること

によって解決されるばかりでなく、住民の皆様にとっても各種書類の発行や公共料金の支払いなど窓口に行かなくてもできるので、住民負担も軽減される。

しかし、ネットワークを構築するには自治体ごとにとという訳にはいかず、財源の問題もあるため、国の制度を活用し、予算措置がある間に計画的に進めていこうと考えている。

今後は、今回の提言を参考に時代に対応できる行政システムを構築していく。

ふるさと納税倍増計画はいかに

Q 「ふるさと納税」による収入は町の大きな財源である。当町は他の自治体に比べ非常に少額であると思うが倍増計画はあるのか。

A 町長

「ふるさと納税」は、当町が掲げている「交流から定住へ」の取組の一端と考えている。増額を目指すには、まず「ふるさと納税」のウェブサイトを見てもらうところからのスタートである。

Q 「ふるさと納税」は今では個人からだけでなく、企業からの「企業版ふるさと納税」制度が創設されている。

企業や各種団体へ積極的にセールス活動し、町の既存、新設の施設にネーミング権や一日貸し切り使用権を返礼品に追加してはどうか。

町職員をはじめ町民全員で様々なアイデアを出

し合い、どうにかして自主財源を増やす努力をしよう！

A 総務課長

当町では町税など自主財源に乏しく、地方交付税などに依存せざるを得ない状況の中、「ふるさと納税」は貴重な自主財源であると考えている。令和3年度の「ふるさと納税」額は、過去3年間と比較すると件数で3倍増、金額で2.5倍増になっている。

また「企業版ふるさと納税」の状況は、昨年度は400万円、本年度は現在500万円となっている。

今後も提言を参考にしつつ、人口減少社会にあっても一生涯懸命に頑張っている神河町を広く強く発信していき、全国の方々から、地域貢献、地域応援していただけるように取り組んでいく。

まちかどインタビュー

第10回



取材日：9月2日
取材者：木村 秀幸

第10回は、寺前区在住の大森真麻さんにお話を伺いました。

自己紹介をお願いします

私は、23歳まで神河町に住み、5年ほど町外に出ていましたが、昨年、寺前に戻ってきました。

今は、福崎町でネイルサロンを経営し、毎日神河町から通っています。子どももおり、いろんな方向から神河町を見えています。



大森 真麻さん

神河町の良いところは

いい意味で人と人との距離感が近いところです。年齢、性別問わず、初めてお会いする方でも挨拶やしやべりができ、知っているような気になります。

また、とても協力的なので困ったときや手助けが必要なときは、みんなが助けてくれます。

栗賀小学校跡地公園・図書コミュニティ施設整備について思うことは

跡地を利用して町民も遊べて、神河町の観光地のひとつになる施設ができるのは素敵なことだと思います。しかし、利益を出す施設ではないと聞きました。そうなる、施設の建設費や

運営費はどうなるのかと心配になります。新しい施設が神河町に出来ることは嬉しいですが、それだけではないのが率直な意見です。

町や議会に望むことは

子育て支援の強化です。例えば、明石市のように、2人目以降の保育料無償、1歳までおむつ無償などがあればとても助かります。

また、土曜日保育を実施する場所も増えてほしいです。私の娘（4歳）は寺前幼稚園に通っていますが、幼稚園は土曜日保育を行っています。近くには土曜日保育を行っている寺前保育所がありますが、娘の年代の子はみんな寺前幼稚園に通っているため、友達の

いない保育所に通わせるのは、子どもの気持ちを考えると心が痛みます。しかし、土曜日保育のない幼稚園に通わせると親の職は制限されます。

実際、私たちとても悩みましたが、友達の多い幼稚園に通わせることを選びました。土曜日は私が仕事を休んで子守りをし、主人が働く。日曜日は私が働き、主人が子守りをすることにしています。家族3人で過ごす休日”は、なかなか作れないのが現状です。

私のように神河町から職場が遠い方は、お迎えの時間に間に合わず、遠方で働くのを諦めている方も多いためです。延長保育の時間も今より延びると仕事もしやすくなります。共働き家庭が多い時代だからこそ、保育に関してはより良くすることを心から願っています。

あとがき

毎年のように最高気温を更新した暑い夏が、名残惜しそうに過ぎていきました。そして新型コロナウイルス感染の第8波が秋の深まりとともに心配されています。新規感染者数の全数報告も見直され、私たちにほどの程度の感染拡大なのか、その指標となる情報を得るのも難しくなりそうです。

議会だよりは議会活動の情報をお届けしています。作成にはできるだけ読みやすく、分かりやすいように努めています。記載してある内容を指標とされながら、さらに議会活動に目を向けていただき、ご意見・ご感想等お寄せくだされば幸いです。

(小島 義次)

広報公聴活動調査特別委員会

委員長 藤原 資広
副委員長 木村 秀幸
委員 小島 義次
澤田 俊一
松岡 宣彦
栗原 廣哉